

南陵新聞

頑張れエスパルス

サポーターたちの熱意

令和5年10月28日にIAIスタジアムでロアッソ熊本と清水エスパルスの試合が行われた。今回の試合は、自動昇格圏内を死守し、昇格へのチャンスがをつかみ取ろうと選手とサポーター一丸となって盛り上がり続けた。現在J2だが、J1復帰を目指して頑張っている。清水エスパルスのサポーターの方々に直接お話をうかがった。

サポーター歴約5年が経つというあやかさんは、親子で観戦に来ていた。家族全員スポーツ観戦が好きで、エスパルスのことを知ったのがきっかけらしい。あやかさんの推しの選手は22番のヘナト・アウグスト選手。ブラジル人選手で言葉は通じないのだが、手を振ると振り返してくれるなどのファンサービスが厚く、プレーも素晴らしい選手だと熱く語っていた。また、3対0でエスパルスが圧勝するだろうと意気込んでいた。あや



▲親子で観戦するあやかさん

かさんは3イシヤルグッズショップでシークレットポスターを2枚購入していた。

サポーター歴約32年の笠原さんは、浜松市から息子さんと甥っ子さんと来ていた。もともと高校サッカーが好きでエスパルスを応援するようになったという。笠原さんの推しの選手は6番の竹内涼選手。竹内内ガールズ(竹内選手のファンの総称)の一員だと語っていた。竹内選手も浜松市出身であり、おなじ浜松の人間がキャプテンであったことが嬉しかったらしい。地元ファンも多いそうだ。笠原さんはこの試合について、難しい試合になると思うが前回の勢いのまま頑張りたい、と語っていた。しかし、試合結果は7対1でエスパルスが勝つだろうと予想していた。

サポーター歴10年のリベロさんは、東京都から2、3時間かけてサポーター仲間と観戦に



▲パルちゃんメイクをしたリベロさん

来ていた。一緒に来ているサポーター仲間の車でパルちゃんメイクをしたそうだ。エスパルスが好きになったきっかけは、東京のテレビでエスパルスを見て、自身が焼津市出身だったため、地元チームを応援したいと思ったからだと言っていた。リベロさんの推しの選手は16番の西澤健太選手。感情を全面に出すところが好きだと語っていた。リベロさんはサポーターの方々に



▲浜松から来た笠原さん

に人気で沢山写真を取っていた。試合結果は、3対0でエスパルスが勝つだろうと予想していた。やはり、エスパルスが勝つだろうとサポーターの皆さんは予想しており、エスパルス愛が感じられた。サポーターの皆さんの士気が高く、会場もとても盛り上がっていた。試合結果は、残念ながら1対3で敗退となった。

編集・発行

静岡県立清水南高等学校 報道部

内藤和 伏見幸恵



人気商品No.1は

シークレットポスター

2021年にエスパルスのグッズショップ最高責任者に就任した阿部さんにお話を伺った。売り上げについては、本体が9000円で中身がおよそ2万円のセット袋や、シークレットポスターが一番人気の商品だそうだ。セット袋はそれぞれ中身が違って、パルちゃんグッズやTシャツなどが入っており、全てのセット袋に縁起のいい必勝ステッカーが入っている。また、ベシックなオレンジのタオル、応援に使えるフラグもおすすめの商品だそうだ。一番人気の選手について聞くと、ダントツで乾貴士選手であり、タオルやユニフォームがすぐに完売するほどだ、と語っていた。阿部さん自身も乾選手が推しで、同級生くらいなので親近感があると言っていた。2、3ヶ月前から、エスパルスの商品企画チームと清水桜が丘高校でデザイン



バナーパーソンに参加しました

バナーパーソンに参加するのは二人も人生初めての経験で、他の学校や団体の方が多くて、始まる前は少し不安でした。バナーの右端を担当させてもらいましたが、ピッチが観客席で見るとは違い、とても大きく、一周するのに予想以上に時間がかかったのを覚えています。観客席に手を振りながら歩くのは、特定の対象が定まらないため、客席のどこを見ればいいのか分からず緊張しましたが、客席をよく見ると、中には笑顔で手を振り返してくれる観客も多く居て心温まりました。インタビュさせて頂いた方を探したり、顔のペイントをされていた方を探したりして、とても楽しい時間でした。近くで選手たちの熱い試合を見ることができ、貴重な



▼グッズ販売最高責任者の阿部さん



▼グッズ販売の様子

